

札幌大同印刷株式会社
環境報告書2006

札幌大同印刷の概要・環境報告書の概要

札幌大同印刷の概要

● 商号

札幌大同印刷株式会社

● 創立年月日

1954(昭和29年)8月10日

● 所在地

[本社・工場]

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号

電話011-897-9711(代表)

[営業本部]

〒062-0905

札幌市豊平区5条5丁目2番25号

電話011-823-6115(代表)

[企画制作室dio]

〒064-0807

札幌市中央区南7条西1丁目13番6号

リバーサイド第2弘安ビル4階

電話011-562-1270(代表)

● 従業員数

116名(2007年4月現在)

● 事業概要

[商業印刷]

カタログ、チラシ、ポスター、パンフレット、メニュー、
カレンダー、雑誌、ダイレクトメール、その他

[デジタル関連]

ホームページ、データベース、CD-ROM、
北海道ポータルサイト(dioce)の運営、その他

[その他]

イベント企画、マーケティングリサーチ、ネオンサイン、
ノベルティグッズ、看板、その他

環境報告書の概要

● 環境報告書発行の目的

本報告書はお客様、お取引先、地域住民、従業員を始めとするステークホルダー(利害関係者)の皆様に、札幌大同印刷の環境への理念、環境保全活動、環境方針への取り組み、社会貢献活動を中心に情報の開示を図るとともに、従業員の教育資料として用い、継続的改善に向けての意識の向上と情報の共有を図ることを目的とするものです。尚、限られた誌面の中ですべての活動を報告することは出来ませんが、札幌大同印刷の等身大の報告としてご理解を頂ければ幸いです。

※ステークホルダー(利害関係者)

企業の利害を共有する人。お客様、株主だけでなく、従業員や取引先、地域住民など企業活動を行う上で関するすべての人のことを指す。

● 対象期間

2006年1月1日～12月31日

※一部2007年度の情報も含まれています。

● 対象組織

札幌大同印刷株式会社 全事業所

● 対象範囲

上記対象組織における、環境保全活動、環境方針への取り組み、社会貢献活動。

● 参照ガイドライン

環境省

「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」

「エコアクション21(2004年度版)環境活動レポートガイドライン」

ISO14001の認証取得

札幌大同印刷は、2003年9月環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証取得から4年目を迎え、更なる地球環境保全活動に取り組み、ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、地域社会への貢献に努めて参ります。

環境方針

● 理念

私たちは健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

● 基本方針

1. 環境マネジメントシステムを確立し運用します。
2. 事業活動全般によって生じる環境への影響を常に認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
3. 事業活動全般にかかわる環境関連の法律、規制、協定等を遵守するとともに、必要に応じて自主基準を定めて、環境保全に努めます。
4. 環境の汚染予防のため、以下の項目を実施します。
 - (1) 事業活動における、電力等のエネルギーの節約を図り、地球温暖化の防止に努めます。
 - (2) 事業活動における、紙の節約及び再生紙の使用とグリーン購入を積極的に行い、環境に配慮した紙・インキ等の使用を、お客様に提案し、森林資源の枯渇を防ぐ等の環境負荷の低減に努めます。
 - (3) 印刷業務において使用される溶剤、薬品等、産業廃棄物として排出される廃インキ・廃液等、及び事業活動において排出される一般廃棄物の分別をし削減・リサイクルの推進を図り、限られた資源の有効利用に努めます。
5. 環境方針の理解と環境保全意識の向上を図るため、環境教育と社内広報活動を実施します。また、取引業者、利害関係者にも、当社の環境マネジメントシステムについて理解と協力を求めます。
6. この環境方針は、ポスターや文書などにより、札幌大同印刷で働く、又は組織のために働くすべての人に周知徹底を図ります。
また、ホームページなどを通じ、一般の人にも公表し、入手可能な処置をとります。

制定 2003年 3月 1日 改訂 2005年 9月 1日

プライバシーマークの認証取得

札幌大同印刷は、お客様の安心・安全を提供することが企業の社会的使命と考え、お客様よりお預りした個人情報の適正な運用と管理、利用目的の範囲内での取り扱いの徹底を図るため、2006年7月4日プライバシーマークを認証取得致しました。

個人情報保護方針

● 理念

大同印刷は、情報化社会において各種のメディア事業活動を営む企業として、個人情報保護の徹底が重要な社会的責務であると認識し、以下の通り個人情報保護方針を定め、個人情報を適正かつ安全な管理のもとに取り扱い、お客様への安心の提供及び社会的責任の責務を果たします。

● 基本方針

1. 大同印刷は、個人情報の取り扱いに関し、「個人情報保護マネジメントシステム-要求事項」(JISQ15001:2006)に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、管理責任者を定め、適切に運用すると共に、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
2. 大同印刷は、個人情報の保護に関する法律及び関連する法令、国が定める指針その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めます。
3. 大同印刷は、個人情報の取得にあたっては利用目的を明確にし、通知または公表し、適正かつ公正な手段によります。
4. 大同印刷は、個人情報を利用目的の達成に必要な範囲内で利用します。利用目的の範囲を超えて個人情報を利用する場合は、あらかじめご本人の同意を得ることとします。
5. 大同印刷は、個人情報を第三者に提供するにあたり、あらかじめご本人の同意を得て、適切に行います。
6. 大同印刷は、個人情報への不正なアクセス、個人情報の紛失・漏洩・改ざん・破壊等を予防するため、合理的な安全対策を講じます。これらの問題が生じた場合には、速やかに是正措置を講じます。
7. 大同印刷は、すべての従業者への教育を通じて、本方針の周知の徹底ならびに個人情報保護の徹底を図ります。
8. 大同印刷は、個人情報の取り扱いを外部に委託する際は、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、必要かつ適切な監督を行います。
9. 大同印刷は、個人情報の取り扱いに関するご本人からの苦情、相談並びに当該個人情報の開示、訂正、削除、利用または提供の拒否などのご要望をいただいた場合には、適切かつ迅速に対応します。
10. 大同印刷は、この個人情報保護方針をポスターや文書、ホームページ(<http://www.dioce.co.jp/daido>)などを通じすべての従業者に周知徹底を図るとともに、一般の人にも公表し、入手可能な処置を講じます。

制定 2005年 4月 1日 改訂 2007年 7月 1日

この環境方針及び個人情報保護方針は社内外に公表します

札幌大同印刷株式会社 代表取締役社長

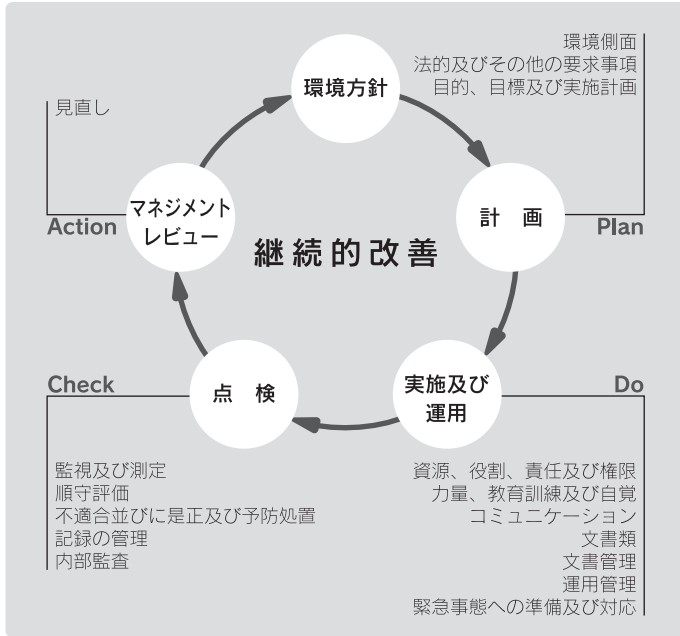
本間 翼

環境マネジメントシステム概要

環境マネジメントシステム(EMS)

環境への取組みを推進するため環境推進者を中心に計画(Plan)、実施及び運用(Do)、点検(Check)、見直し(Action)というPDCAサイクルに沿って環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を図っています。

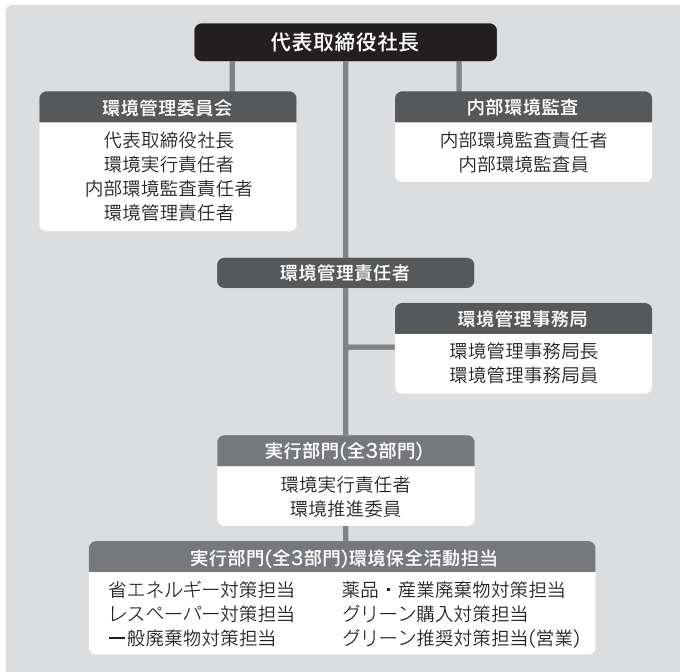
●環境マネジメントシステム全体のフロー図



環境マネジメントシステム推進体制

札幌大同印刷は、効果的な環境マネジメントを推進運営するための組織を構成し、役割と権限を明確にし、3部門の関係を強化することで、環境保全に関する活動を円滑に行っています。

●札幌大同印刷の環境推進体制



法令順守

事業活動において、環境側面に適応される環境関連法規制や条例、協定などの調査を行い、法規制の逸脱を防ぐための自主基準の設定や監視、測定などを定期的に行い、環境汚染の防止に努めています。

環境関連法規制の制定・改訂の動向については、環境省や道庁、札幌市などから定期的に情報を収集し、法の適用を受ける場合には、関係部門に連絡し速やかに対応しています。

また地域住民などステークホルダー(利害関係者)からの苦情などを受付、随時対応し、手順を見直し、必要に応じて改善を行います。

2006年度は法規制などに関する違反及び指摘、苦情はありませんでした。

環境汚染の予防

札幌大同印刷の事業活動から排出される廃棄物から、不法投棄などの環境汚染による法規制の逸脱を防止するため、マニフェスト伝票の管理を徹底しています。

また、灯油タンクからの流出事故を予防するため、本社・工場及び営業本部では防油堤を設置しています。



※マニフェスト伝票

産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われた事を確認する管理票。

事故・緊急事態発生時の対応

各事業所で定めた手順を基に、薬品漏れや火災などの事故及び緊急事態発生時の対応を想定した訓練を行っています。

発生の場合には、原因の究明や予防対策の検討など対応の記録を残すとともに、必要な手順を見直し、手順書の改訂を行います。

2006年度は、事故及び緊急事態の発生はありませんでした。



環境マネジメントシステム概要

環境教育



環境管理に必要な知識と技能を習得し、環境保全の継続的な改善を図るため、全従業員を対象に環境教育を行いました。

また、部門独自の取り組みと日常活動の維持向上を目的とする教育や、環境マネジメントシステムの運用管理をするための専門的な知識や技術の習得により、維持向上を目的としたスタッフ・監査員の専門教育などを行いました。



コミュニケーション

● 社内コミュニケーション

従業員とのコミュニケーションを図るため、各事業所に掲示板を設置して、社内の環境情報を共有するとともに外部からの環境情報の提供を行っています。



● ホームページによる情報の発信

札幌大同印刷のホームページに環境保全活動に関するページを開設し、環境情報や取り組みなどを公開しています。



※札幌大同印刷「Ecology Report」
<http://www.dioce.co.jp/daido/iso/index.shtml>

環境マネジメントシステム監査

札幌大同印刷の環境マネジメントシステムが、ISO14001の規格や環境法規制の要求事項などを適切に維持管理され、運用が確実に定着しているかを検証するため、内部環境監査を実施しています。

● 2006年度内部環境監査実施結果



記録や面談、現場の従業員インタビューにおいて、着実に環境マネジメントシステムの運用、維持・管理の定着を確認することが出来、前年度より是正処置を必要とする観察などの指摘事項が大幅に減りました。

また、今後の課題として、不良製品の低減に繋がる業務改善に向けての新たな展開などが上げられます。



	観察事項	軽微な不適合	重大な不適合	推奨事項
営業本部	7件	2件	0件	2件
企画制作室	2件	0件	0件	1件
本社・工場	8件	1件	0件	2件
環境管理責任者 環境管理事務局	3件	0件	0件	1件
合計	20件	3件	0件	6件

2005活動実績・中期計画

省資源・地球温暖化防止対策

※自己評価について ◎ 目標大幅達成 ○ 目標達成 × 目標未達成

環境目的	過去の実績				目標	実績	評価	目標	中期計画
	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度		2007年度	2010年度	
電力使用量	450,275kw	420,222kw	464,476kw	431,804kw	430,187kw	428,260kw	○	426,748kw	425,277kw
車両排出ガス(CO ₂)排出量 (ガソリン1ℓ→CO ₂ 2,310g)	88,050kg	87,639kg	85,943kg	81,719kg	81,530kg	81,178kg	○	81,094kg	80,830kg
印刷予備紙率	—	14.00%	13.22%	13.04%	13.00%	12.88%	○	13.00%維持	13.00%維持
コピー用紙使用量 (A4換算)	576,100枚	536,425枚	451,236枚	449,365枚	449,365枚	411,671枚	◎	409,959枚	406,516枚

化学物質・廃棄物対策

環境目的	過去の実績				目標	実績	評価	目標	中期計画
	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度		2007年度	2010年度	
印刷溶剤(トルエン)使用量	—	238.0kg	235.2kg	263.2kg	257.6kg	246.4kg	○	240.8kg	224.0kg
廃液排出量	16,866kg	12,455kg	5,252kg	4,669kg	4,217kg	3,714kg	◎	3,694kg	3,646kg
廃インキ排出量	2,137kg	2,205kg	1,866kg	1,782kg	1,778kg	1,890kg	×	1,778kg	1,765kg
一般廃棄物排出量	—	34.99㎡	34.35㎡	33.82㎡	31.47㎡	32.23㎡	×	31.63㎡	31.63㎡維持

環境に配慮した提案

環境目的	過去の実績				目標	実績	評価	目標	中期計画
	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度		2007年度	2010年度	
再生紙の提案	—	—	7.9%	7.4%	8.0%	7.1%	×	7.1%維持	7.1%維持
大同特色インキの提案	—	—	27.4%	35.2%	35.5%	37.2%	○	37.4%	38.0%

コミュニケーション

環境目的	過去の実績		実績	評価	目標
	2004年度	2005年度	2006年度		2010年度
地域社会への貢献	—	環境イベントの参加	環境イベントの運営 環境セミナーの参加	○	地域社会貢献活動 への参加
環境情報の公開	環境報告書の発行	環境報告書の発行 ecology report を開設 ダイジェスト版を掲載	環境報告書の発行 ecology report から 報告書ダウンロード開始	○	ステークホルダーとの コミュニケーションを推進

環境方針への取り組み概要（省資源・地球温暖化防止対策）

電力使用量の削減

CTP(Computer To Plate)の導入により、印刷工程のデジタル化が促進されたことで、企画室でのフィルム出力用自動現像機の使用停止や本社工場での印刷工程作業時間の短縮などに繋がり、前年比0.8%削減することが出来ました。

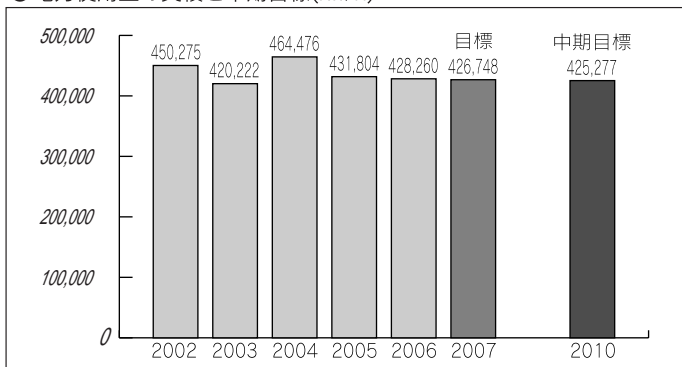
※CTP(Computer To Plateの略語)

印刷用のPS版を作成する場合、フィルムでは無くコンピューターから直接版にデータを出力する方法。

※PS版

アルミ板に紫外線により感光する感光層を塗布したもので、オフセット印刷の版材として使用される。

●電力使用量の実績と中期目標(kw/h)

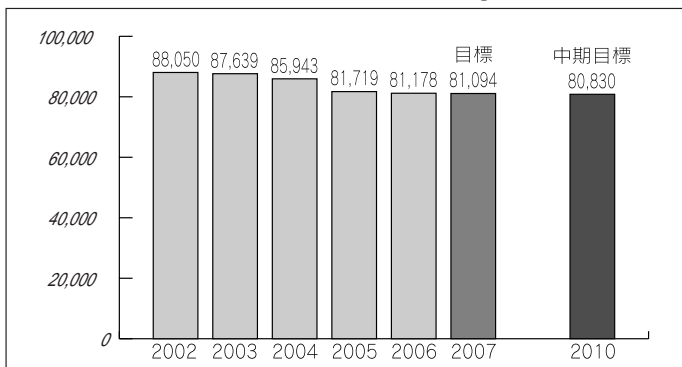


車両排出ガスの削減

低排出ガス車の導入やアイドリングストップの実施、車両内に注意喚起ステッカーを貼るなどの活動の取り組みにより、前年度比0.7%削減することが出来ました。



●車両排出ガス量の実績と中期目標 (CO₂換算 kg/h)



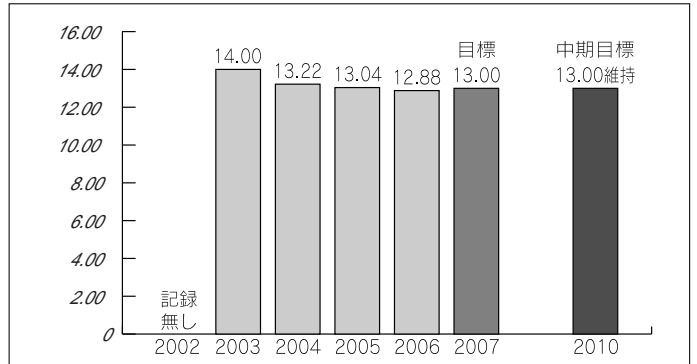
印刷予備紙率の維持継続



印刷予備紙とは、印刷時に試し刷りの際に使用する紙の事で、見当(印刷位置)を合わせたり、インキの濃度を合わせるために必要となります。この予備紙の削減を図るために、損紙の再利用や喚起ポスターでオペレーターへの意識付けをするなどの活動に取り組みました。

また、CTPの導入によるデジタル化に伴い、前年比0.12%削減することが出来ました。

●印刷予備紙率の実績と中期目標(%/h)

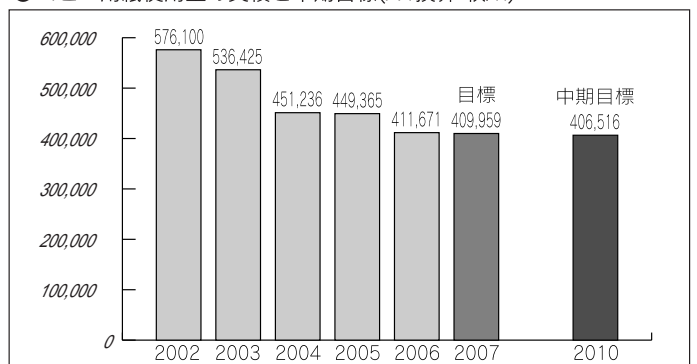


コピー用紙の削減

片面使用済みコピー用紙の裏面再利用や製本工程時に発生する断裁紙片の有効活用などに取り組みました。

また、個人情報保護法の施行に伴い、プライバシーマーク取得に向けた取り組みによってコピー用紙の使用枚数の増加が懸念されましたが、前年比8.4%削減することが出来ました。

●コピー用紙使用量の実績と中期目標(A4換算 枚/h)



化学物質の削減



印刷機のブランケット胴の洗浄用として使用していたジクロロメタンを、環境への影響と共に人体への有害性が懸念されるため、作業者の健康と安全を守る観点から2006年1月より100%使用を禁止しました。

ジクロロメタンの不使用により、代替品として使用されるトルエンも、揮発性有機化合物(VOC)として化学物質の規制対象となることから使用量の削減に取り組み、前年比6.4%削減することが出来ました。

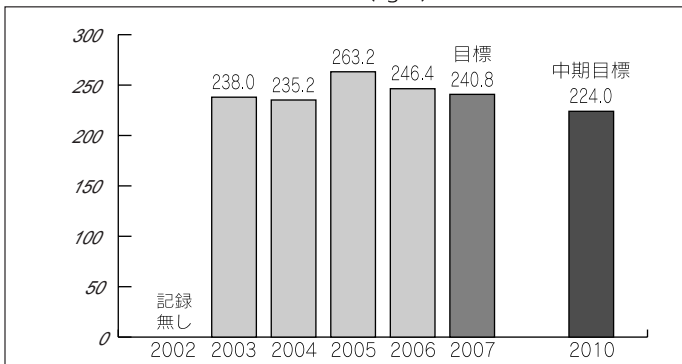
その他の化学物質についても製品安全データシート(MSDS)を理解し、安全で適切な取り扱いと管理を図っています。

※ブランケット胴
オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムブランケットを巻いた中間胴の事で、版胴上の画像は一度このブランケット胴に転移され、さらに紙に再転移されます。

※揮発性有機化合物(VOC=Volatill Organic Compounds)
空气中に揮発する有機化合物を指す物。洗浄用や溶剤、燃料として幅広く使用されており、大気や水質などへ放出されると公害や健康障害を引き起こすことから、大気汚染防止法により規制されている。

※製品安全データシート(MSDS=Material Safety Data Sheet)
材料に含まれる化学物質と安全に取り扱うための情報が記載されており、化学物質を取り扱う現場では保管することが必ず義務づけられています。

●トルエン使用量の実績と中期目標(kg/h)



廃棄物の適正管理と削減

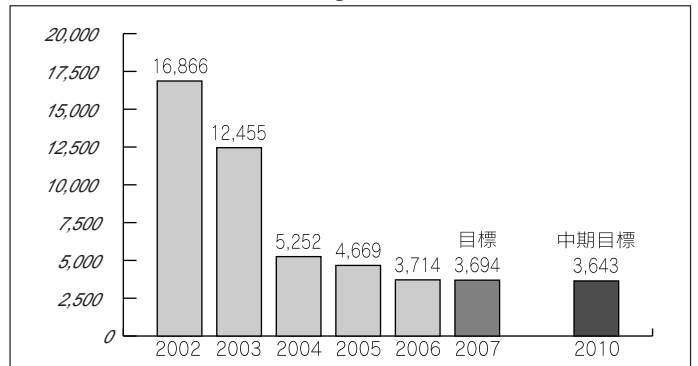
事業活動から排出する主な産業廃棄物として、企画室では自動現像機から排出される廃液の削減に取り組み、2006年度はCTPの導入により印刷用PS版作成のためのフィルム出力用自動現像機を廃止し、前年比20.5%と大幅な削減をすることが出来ました。

本社工場では印刷工程で排出される廃インキの削減に向け、作業者の技術の向上に努めました。また、営業活動でも大同特色インキの提案に取り組みましたが、廃インキの排出が前年比で6.1%増加してしまいました。

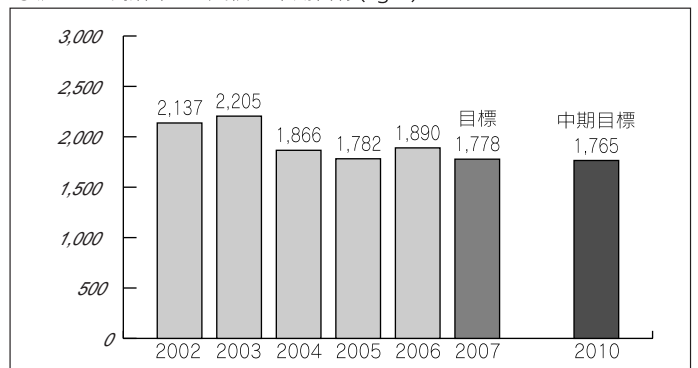
原因としては、特色インキで印刷する通し枚数が減少しているため特色インキが余り、在庫として保管したがその後使用されることなくインキが劣化してしまい、廃棄したことが主な原因に上げられます。

一般廃棄物は分別や4R推進活動などに取り組み、前年比4.7%削減することが出来ました。

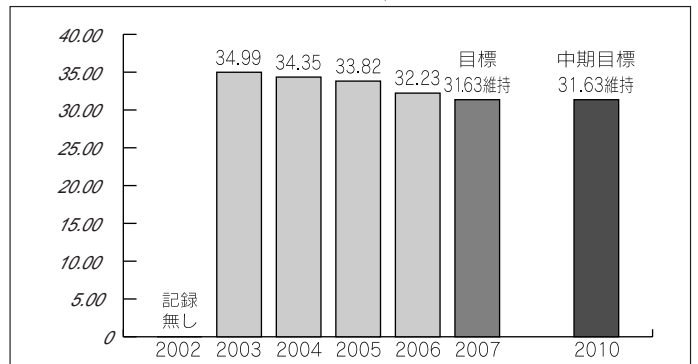
●廃液排出量の実績と中期目標(kg/h)



●廃インキ排出量の実績と中期目標(kg/h)



●一般廃棄物排出量の実績と中期目標(m³/h)



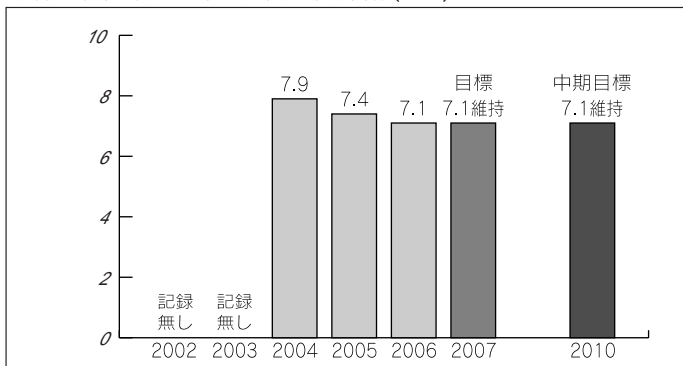
環境方針への取り組み概要（環境配慮型提案）

お客様への再生紙提案

あらゆる環境問題の中でも、森林保護はとても重要なテーマです。そのためにも紙を作る際に投入される木材資源の使用を極力抑える事が、紙に印刷することを生業とする札幌大同印刷の命題と考え、森林資源の保全のため、クオリティを維持した再生紙を選定することで、環境と品質の両方から満足して頂ける再生紙をお客様に使用して頂こうと提案しています。

営業活動において、お客様への提案を行ってまいりましたが、前年比で0.3%減少してしまいました。しかし、環境負荷の低減に繋がる事からも、引き続き再生紙の提案を推進致します。また、現在の古紙リサイクル事情などを踏まえた提案も検討していきたいと考えています。

●再生紙提案受注率の実績と中期目標(%/h)



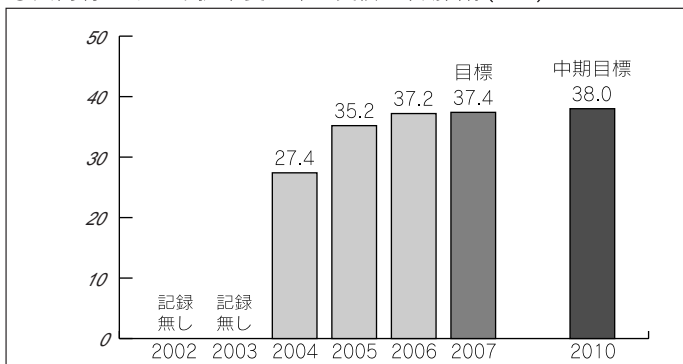
お客様への大同特色インキ提案

札幌大同印刷は営業活動により無駄になるインキを極力減らすために使用頻度の高い特色インキを選定し、お客様に当社見本帳の中からお選び頂く提案を行っています。



お客様への提案を行った結果、前年比で2.0%増加することが出来ました。この提案が環境負荷の低減に繋がることから、引き続き大同特色インキの提案を推進致します。

●大同特色インキ提案受注率の実績と中期目標(%/h)



印刷文化を通じた環境啓発活動

●「木を植えるカレンダー2007」

環境への影響に配慮して、古紙配合率100%の再生紙(セミオーダーの間伐材紙)を用意し、印刷インキには食用油の原料として使用するものと同じ大豆油をベースとした大豆インキを使用、金具を一切使わずペーパークラフトカレンダーとして、素材や生産、使用後の廃棄など、各工程での環境負荷を少なくした「木を植えるカレンダー」の販売を行いました。



販売収益の一部を、みどり豊かな北海道をつくるために緑化推進運動を行っている、社団法人北海道森と緑の会「緑の募金」に寄付しました。

●「DAIDOカレンダー2007」

年末のご挨拶としてお客様、取引先などに配布したカレンダーは、紙に非木材紙ケナフを使用、インキは大豆インキ、表面加工には有害物質の出ないUV加工を施しています。また絵柄には用紙のサイズが描かれ、カレンダーに紙を合わせると用紙のサイズが分かるようになっており、好評を頂きました。

●「環境報告書の提案」

札幌大同印刷の環境保全活動の取り組みや実績などを「環境報告書」としてまとめ、全従業員に配布し、継続的改善に向けての意識の向上と情報の共有を図りました。



また、環境情報の公開と発信により、企業の信頼性の向上、地域とのコミュニケーションの拡大、及び、ステークホルダーが報告書を手にする事で環境啓発ツールとしても有効と考え、環境イベントやセミナーなどの参加者に配布し提案しています。

グリーン購入

札幌大同印刷は商品やサービスを購入する際に、必要性を十分考慮し、価格や品質だけではなく、環境への負荷が出来る限り小さな物を優先的に購入することを推進しています。

グリーン購入の対象品目として文具事務用品、OA用紙、ティッシュ・トイレトペーパー、オフィス家具、社用印刷物の5項目を掲げ、地球環境保全活動のひとつとして優先的にグリーン購入を推進していくとともに従業員へのグリーン購入の啓発に努めています。

地域社会への貢献活動

「環境にやさしいまちづくりを考える会」による地域貢献



札幌市厚別区に在住又は企業、団体などに所属する有志で結成され、厚別を環境にやさしいまちにしようと、地域と継続的なコミュニケーションを図り、環境意識の啓発に努めています。

2006年9月2・3日(土・日)の2日間、厚別サンピアザ光の広場を会場に環境イベント「環境・快適くらし展in厚別2006」を開催しました。1日目は行政、企業、市民団体等の事例発表やパネル展、体験講習、環境クイズ、エコライフ10万人宣言の募集などを行い約350の方が来場しました。2日目はパネル展示のみを行い、通行中の多くの人の目に触れ、地域への環境啓発イベントとして好評を頂きました。

2006年11月には「厚別東パソコンクラブ」に訪問し、24名を対象に厚別区と他の区をクイズ形式で比較しながら、厚別区の現状と豊かな自然環境を残していくために私たちに何が出来るかを一緒に考えました。



2007年1月には「もみじ台ふれあい児童会館」に訪問し、小学1年生から6年生まで18名を対象にゴミの分別ゲームと厚別区役所が行う「新さっぽろ冬まつり」で飾られるキャンドル作りのサポートをしました。



「さっぽろキャンドルナイト2006」活動への参加・支援

2006年6月21日PM8:00~10:00「一番昼間の時間が長い夏至の夜の2時間、一斉に電気を消して、スローな夜を過ごそう」というさっぽろキャンドルナイト実行委員会が主催する「さっぽろキャンドルナイト2006」の呼び掛けに賛同し、キャンドルナイトミーティングへの参加や従業員に対して残業の抑制や家庭での実施の呼び掛け、自社ホームページでの紹介、お客様や取引先などへチラシやキャンドルの配布を行いました。



環境・CSRセミナーへの参加・協力

持続可能な社会形成を目的とし、環境保全活動の促進支援として2006年3月に開設された環境省北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)が主催する企業と環境にスポットを当てた環境・CSRセミナーの第2回「中小企業のCSR活動を考える」が2006年9月札幌市環境プラザで開催され、札幌大同印刷が取り組む環境保全活動の事例を発表しました。



2006年10月には、引き続き第3回「企業の環境CSR活動とパートナーシップ」が開催され、行政、企業、NPO・NGO団体から14名のステークホルダーとともにワークショップに参加し、持続可能な社会形成に向けた、対話によるコミュニケーションが図られました。



※CSR(Corporate Social Responsibility)「企業の社会的責任」と訳され、企業活動の社会、環境、経済を総合的に捉え、ステークホルダー(利害関係者)に配慮した経営のこと。

※NPO(Non Profit Organization)民間の非営利組織。
※NGO(Non Governmental Organization)民間の非政府組織。
NPO、NGOどちらも環境、福祉、国際協力など社会的な問題に市民が主体的に取り組む組織のこと。

地域社会への貢献活動

「さっぽろ環境ポスター移動展」啓発活動への支援



2006年9月札幌市環境プラザ主催の「さっぽろ環境ポスター移動展」が開催され、札幌市内の小・中学校の児童・生徒から「私たちの美しい地球」をテーマに環境ポスターを募集しました。



応募されたポスターは展示会場を札幌市環境プラザ、札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」、アリオ札幌と移動しながら広く市民の目に触れる機会を提供し、環境意識の啓発が行われました。

その他の貢献活動

●「さっぽろエコライフ10万人宣言」への参加

札幌市が行うエコライフの実践、推進する活動「さっぽろエコライフ10万人宣言」に従業員一人ひとりが宣言をしています。

●「割りばしリサイクル」の収集活動

使い捨てられる割りばしを資源として再利用することから、紙に生まれ変わることから、社内で使用済みの割りばしの収集を行っています。

2006年度は約60kg、BOXティッシュで90箱分に相当する割りばしが製紙会社に引き渡されました。

●「カレンダーリサイクル市」への支援

年末不要となった社内や従業員の家庭から集められたカレンダーを回収して、北海道NGOグローバルトレイン主催の「カレンダーリサイクル市」に提供しました。

カレンダー販売による収益金により、沖縄「マングローブ植林プロジェクト」などの活動に役立てられました。

「さっぽろライラックまつり」活動への支援

2006年5月大通り公園にて開催された「さっぽろライラックまつり」の写生コーナーにて、ライラックが咲きそろう大通り公園を小学生以下児童に描いてもらおうと、画用紙を提供しました。



「ママチャリ耐久リレー大会」活動への参加・支援

環境に優しい乗り物として、家庭用自転車を通じて環境問題を考えようと、2006年6月札幌市東区にあるモエレ沼公園にて、北海道ママチャリ委員会が主催する「ママチャリ耐久リレー大会」が開催され、従業員がチームを結成して参加しました。



●「リングプル」の収集活動

従業員やその家庭から集められたリングプルをリサイクル業者に引き渡し、その収益金で車椅子を購入し、社会福祉団体に寄贈することで、お年寄りや身体の不自由な方のお役に立てて頂きたいと考え、リングプル再生ネットワーク「プルネット」に登録し収集しています。

●「使用済み切手・書き損じハガキ」の収集活動

使用済み切手・書き損じハガキの収集し、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)などへ送られ、アジアやアフリカの発展途上国へ医療品の購入や医師、看護師の派遣など保険医療事情の改善に役立てられました。

札幌大同印刷株式会社「環境報告書2006」

[本報告書に関するお問い合わせ窓口]

札幌大同印刷株式会社 企画制作室dio 環境管理事務局

TEL 011-562-1270 FAX 011-562-1280

環境情報のダイジェスト版は、ホームページ内「Ecology Report」にて
ご覧頂けます。

札幌大同印刷ホームページ <http://www.dioce.co.jp/daido>



古紙配合率100%再生紙を
使用しています。



環境に優しい植物性大豆インキを
使用しています。

この報告書は地球環境保護のため、古紙配合率100%再生紙(グラフィーエコ100)を使用することで、森林資源の保護とリサイクルを促進します。

インキはアメリカ大豆協会が認定する環境に優しい大豆インキ(大同見本帳/Daido-CM)を使用することで、石油資源の保護、大気汚染の原因となるVOC(揮発性有機化合物)の発生を抑制しています。

2007年6月発行

次回発行予定は2008年6月。